

古言清濁考

二

清水濱

古言清濁考二之卷

古言清濁考二之卷
卷之二
○●

清水濱 臣藏書

古言清濁考二之卷

加部

カカ

かか 物喜

かか ○ 可加まくり

万十四丁 可吞延茶式

かか

ふ 幣

かふ ○ 可布 万五丁

かがよひ 号神

か ● ち

○ 香用比賣 上古

かがび 号神

かひ ● 火之炫毗古神

上古 かがろひがいふるど皆留まるれを。炫の力を留るべし。但しは喜二つハきさるゝさばゆるるよ。留まるの毗を用ひるるハいふか。

かが

ふ 炫

か ● 加我欲布 万六丁 蚊蛾欲布 万六丁

かがり 簞

か ● 可我理 万十七丁 四十九丁 十九丁 十二丁

かがみ 鏡

か ● 加賀美 下古

茶 可我美 万十五丁 十二丁

かが 地名

か ● 鹿我別 功紀神

かがなべ

て 並々

かへ ● 加賀那倍 景古中 伽我奈倍 景古中 伽我奈倍 景古中

かが

○ 清濁考二

○

ふる 蒙
か ● ふ ○ みこや加我布理 万九丁
かがふる

被
か ● ふ ○ ひさ可賀布利 万九丁
かがふり 冠
か

ふ ○
能字ハ多クもとのニ系
又字ハ少クもとのニ系
かがふかがひ 耀
か

● ふ^トひ^{トラ} ○ 加賀布賀我比 万九丁
修了賀我比と
あるハ不^レある

カキ

かさひく 琴まじり
ひくこ
さひ ○ 加岐比久 古下
仁徳 訶枳譬句 紀應
神

かさふれ 垂搔
ふ ○ 加岐多礼 古中
應神
かさつくと 搔
着 つ

○ あむ柯枳都枳 古下雄
畧紀同
かさがひ 蠶
貝
か ● 加岐賀

比 古下
危恭
かさつ 内垣
さつ ○ 可吉都 万八十六丁十四十九
丁十九ノ四十七丁
か

さば 垣
は ○ 垣保 万九丁
かさつばふ 花
名
は ○ ● 難定

加吉都播多 万十七
十二丁
播ハ甚善なれど
も此一つのこ
かざろひ 火の
炫
さ ●

さば
垣保
ほ○
垣保
かさつば
花名
は○●難定

加吉都播多
万十七
十二丁
播ハ
かざろひ
火の
さ○●

ひ○
迦藝漏肥
履中
かざめ
限
さ○●
可藝里
万十四
九丁

元四十
四丁

カク

かくのかみ
神号
く○
天迦久
神上古
かこや
矢名
く○

天之加久矢
上古
麻可胡也
万九
五十丁
かくのこのみ
橘
く○

迦玖此このみ
古中
重仁
箇俱此
み紀
同可久のこ
此み
万十八
八丁
かく

毀
く○
柯枳
畧
紀雄
かこさよ
如此
さ○●
可

久左麻
万十五
五丁
可久佐末
十八
六丁
可苦佐布
万一
十三丁

かくる
隠
く○
詞句理
古紀推
可苦佐布
万一
十三丁

○ 後考二
○ 二

詰黒
 く ● 迦具漏伎百五十九丁
 かぶやま地名
 く ●

迦具やま古中景行万景
 一巻三巻七巻
 个遇やま紀神
 〇くまはむ
 かぶはし

香細
 く ● 迦具波斯古中
 應神伽遇破志紀
 香具播之百八丁
 か

くれ所曰妻をよむ
 ふ古まろり
 く ● よめ香具礼百九丁

カケ

かけ地名
 け ○ 可家此とる
百十四丁
 可雞山百十丁
 かけ鶏

け ○ 迦祁上古
 柯替紀
 可鷄百十三丁
 かけか懸
 けく

○ まふまを加氣古下
 允恭柯該一ひとる
紀雄
 可既まくと

万五丁
 十三丁
 かけ翔
 け ○ 迦氣流古下
 仁徳箇慨梨紀
 かけ

ひ免人名
 け ● ひ ○ 箇體比謎柯導比謎
紀武
 かげ影

け ● 箇體紀武
 おも可宜百十九丁
 かげ陰
 け ● 加宜

古下 加礙紀安
允恭 加礙康
あるは西へうへに

カコ

かこ 播磨郡名
こ○ 可古比志ま 万三、十五丁
かこ 水手
こ○ 加

古 万十五、十一丁 可故 八、十丁
かこゆみ 弓名
こ○ 天之麻迦古弓 上古

カサ

かさ 丹後郡名
さ○ 訶沙郡 紀天
かざ 筑紫地名

さニツたニ○ 笠沙之御前 上古
かざけつじけ 号神
さ● け

○ 風木津別之忍男神 上古
訓注。訓風云
かざげや 伊豫

郡名 さ● は○ 風速郡 統紀持
かをほるりとのまて
さ● ふを可射里

さハ。ほまはニつは
うさるほまれをへ
かざり 饒

丁十七
かざり 挿頭
さ● 加射之 万五、十五丁
加謝之 十七、丁可

るハ。沼多水二つ作
うごる海をぬをこ。

かづり

饒

さ ●

ふを可射里
九

十七
丁 **かづり** 挿頭 さ ● 加射之 万九十五丁十六丁。加謝之 十七丁可

映之 九丁十 佐を用ひる
二丁 八不正。

カシ

かすい 筑前地名 へい ○ 訶志比 古中仲哀 **かすえ** 筑紫地名

ふ ○ 可之布江 十八丁十九丁 **かすけ** 檀原又大 知地名 は ○ 加

志波良 古下雄畧 る系元二婆を用ひる **かす** 船を繫木こ へ ○

可志 万七丁十 可之 十九丁十四丁 **かす** 頭 志 ○ 可之良

万九丁 **かすは** 櫛 へは ○ あかす我之波 万九丁十 婆

用ひるハ **かすこ** 恐 へこ ○ 加斯古美 古下雄畧 舸斯

固弥月紀可斯故斯 万九丁十 **かすく** 炊 へく ○ るつ炊さ

○ 法考三

四

万八、十
九丁

カス

かまが

大和、地
名春日

か ● 箇酒鶴
紀園
箇酒我
武烈

かまみ

つ
立霞

まぬ ○ 可須美多都
万五、十八丁
九、十一丁

かま
敷
ま ●

加受
万十七、十七丁
十五、廿一丁

カセ
カソ

かせやま

山城、
地名、
せ ○ 鹿背山
万六、四
十三丁
背ハかるハあ
らぬど、古書ハ皆

佳翁
用ゑり。

かせ
風
せ ● 加是
古中神武
万五、六丁
万葉十七、二
世

正し
らむ。

かそ
父
そ ○ 柯曾
紀仁
信るハ
誤シハ

かそけ

幽
そ ○ 可蘇氣伎
万十九、九
丁、四十八丁

かぞふ
計

そ ● ふ

○ 可俗閉
万五、九
丁

蘇倍
ハ正し
用ひる
ハ

これハ知もち
もすよべし。

かみかひがは

越中名
川名

中、か○下、か●可

多加比我波
万十七、
四十一下

かみみ

地名

かみみ
形見此
万十七、
十八下

かみみ

見形

かみみ

可多美
万十五、六
下、一、下

かみち

形

かみち○

迦多知
万五、四下
四十下

虫紀
陀を用ひ
よハ不
正ニ

かみこひ

意片

こ○加

多孤悲
万十七、
十九下

かみふち

測片

ふ○

箇施轉智
代紀神

かみ

さり

去片

さ○

よどこ加多左里
万十八、
九三下

かみづく

著片

つ

●可多頭伎
万十九、
九五下

かみぶく

頃

ふ●加多夫祁理
下古

清
可多夫氣婆
万十五、
十一下

かみおけり

黍

かみおけり
志●可

多自氣奈弥
結日
称徳

これハ知
みちカ
カミチ
カミチ

かみぬ

物ヲ取
總ルニ

かみ

○可多祢
万十八、
九下

かみ

かみ

可多
万十四、
九四下

かみ

肩

○可多
万五、
九下

某が

縣

か●かみゆい我多
万十四、
九二下、
く

可多 万五、
九丁

某が 縣

か ● ぬゆい我多 万十四、
二丁

どば我多 日十
三丁 ひよ我多 日九
四丁

此のいりあり。
ぬゆいあり。

某が 難

か ● まら賀多

古中 景行 あり我多之

万十七、
四十五丁 え賀多久

石哥

万五、十四、二、え可多伎
とあるハ不正多し。

か 筑紫、
地名

ぬ ●

可太 万十五、
十四丁

和名抄、
筑後、

御井郡賀駈といふ
地名ありとれり。

カチ

かち 行歩

ち ○

か志 万九、
九丁

知を印といふハ
東方より。

かぢ 楫

ち ●

可治 万十四、
十四丁 加遅 十七、
四十二丁

知を用ひと
ハ不正。

かぢ 穀

ち ● 可頭

万十四、
十六丁 知とツはか
ゆあり。

カツ

かや 人名又姓。又地名。
 や○ 訶都紀天 肝等安 香登臣 續日
かや

か 下総郡名
 や○ 可刀利万十四, 十五丁
か 角
 や○ 門
 や○ 可度万十四, 十五丁
か

十九丁。十九丁六丁。十九丁六丁。十九丁六丁。
 用ひくぬるハ不正。
か 角
 や○ 加度万六, 八丁
か

修日後ひ出い
 いざまの行り
 や○ 可豆佐祢万十四, 十六丁
 修日。カヅサネは、カドハサネあり。トを

ツ又通り
 十八卷より加多波年とあるハ正とす。

カナ

かなやまびこ 号神
 ひ○ 金山毗古神上 古
かなやまびこ

号神
 ひ○ 金山毘賣神上 古
かなや 戸金
 や○ 加那斗古 下

允訶那杜可奈 刀万十四, 十五丁
かなば 金機
 は○ 箇難 登多

紀仁
かな 録金
 花さ○ 加那須岐古 雄下
かな 下

悲
 ひ○ 可奈之備万七, 七丁
かなづ 奏
 つ○ 訶那傳古 下

紀仁

かなたさ

録金

たさ〇

加那須岐雄古下

かなりび

悲

ひ●可奈之備五七

かなづ

奏

つ●

訶那傳古

恭允

かなふ

叶

ふ〇

可奈比十

かなさ

木小

さ〇

婀娜紀徳

カニ

カヌ

かしかく

とよか

か〇可尔迦久七

日八

かしかく

地名

は〇可尔波乃多烏十

かしか

皮櫻

は

○●不知

櫻皮カニハ

かぬ

兼

か〇おくと可奴加奴

五十四
九四下

カネ

云々かぬ

得不

か〇つまよぎ迦泥て上古つまよぎ寄泥て

○法考二

八

紀 継 あゝそひ可祢 万十四、十九丁 まち可祢 日六、四丁 むぐと免可祢 十五、十丁

日すれ可祢 日九 おもひ可祢 日九、二丁 たあそひとありはるべし。但し、いえがぬいしよ

いりまぬハ、ほき此我の字を用ひり。されど、二ハ、万十四卷、二の、ありて、あゝそひえさるハ、たあゆまゝ、よく考ふべし。

云々が

ぬが 言のまじハ、師の玉の、ほき か ● みおすひ賀祢 古下、仁徳 みおすひ

駮泥 日紀 かゝりつぐ我祢 万十四、十九、十五丁 ともいぶ我祢 十七、四丁 あひ

をあふる我祢 十四、十九丁 あへもぬく我祢 十八、四丁 ろりぬ賀尔 十四、二丁

あえぬ我尔 八、二丁 偽一、影宗、細い、ふる、柯、倭や、万五、十三丁、いひつぐ可祢と、ほき、さも用ひり、ぬ、これハ、ほきべし。

カハ

かばま 川 候 ぬ ○ 伽破摩多 紀、應 かばま び 人 名

ひ ● 河股毗賣 古中、綏靖 かは 川 へ ○ 何播杯 紀、齊

かば 豊園、地名 ば ○ 加波流 カハ、流 流 万九、五丁 かば 革 ば ○

ひ
河
月
田
賈
綏
靖
か
し
一
辺
へ
○
作
本
明

かばる 豊園地名
は○ 加波流革流カハ 万九千九百五十七
かは革
は○

後志多岐守上
かばり 肥後郡名
はし○ 皮石郡カハシ 紀持統
か

はや 門河
や● 加波度 万五千九百一十
はし○ 皮石郡カハシ 紀持統
か

ぼづ 門河
つ● 河泊豆 万四千八百一十八
かはづ 蝦
つ● 河豆 七万

七 下
かばのべ 邊川
へ● 迦波能倍 古下仁徳 万七千九百一十九
かばく

ま 隈川
く○ 箇波區葦 紀仁徳
かはち 道川
ち● 可波治

万四千二百一十二
かばび 邊川
ひ● 可波備 万九千九百一十四
かはせ 瀬川
せ○

可波世 万五千九百一十三
かはかみ 上川
か○ 可波加美 万五千九百一十四

十四ノ 下
かばそひ 副川
そ○ 哥簸泝比カハソヒ 紀影宗
かは

ぬれささ 彼ハ後志多岐守上ノ
面ノヌレササヲぬれ給ヤル
ぬや○ あかともさか加

○ 後志考二

○ 九

波多礼等积 万七、
七丁 **かは** 交 **は** ○ **よび** 可波須 万十七、
七丁

云 **かば** 之辞 **は** ● **山ゆさう** 可婆 万七、
十二丁 **よび** 母 **加婆**

月十 **い** さつ **可婆** 月四
十丁 波^口を用ひる母ハ不^正又後世又之のう
らへかへふカハともいふ事ハ古よりハ

又ある らず **かば** **ね** **尸** **は** ● **可婆** 祢 結日
九 こハ新カカウ事
乃れバ姑くもぬ

カヒ **カフ**

かひ **べ** **ら** 号神 **へ** ● **甲斐** 辨羅神 上古 **かひ** 名 **い** ○ **甲**

斐 古中景行紀同
万三、七丁 **柯** 彼 紀雄
畧 **かひ** 峽 **い** ○ **よ** も **可** 比 古

雄畧 万十
七、十三丁 **かひ** 貝 **い** ○ **可** 比 万七、
八丁 **かひ** 腕 **い**

○ **可** 比 奈 万三、
十六丁 **か** **ふ** **ち** 川名又
河内 **ち** ○ **河** 内 万七、
七丁 **可** 敷

知 十七、
十一丁 **か** **ぶ** **ら** 鋪又大
和地名 **ふ** ● **訶** 夫 羅 前 古中
神武 **い** 免 加

夫 良 万十六、
七丁 **か** **ぶ** **つ** **く** **ま** **い** 頭
真日 **ふ** ● **つ** **い** ○ **加** 夫

知十一
カ
和地名
神武

夫良 万十六
カ

かぶつくまひ

頭衝 真日

ふ ● つひトラ ○ 加夫

都久麻肥 古中 應神

カ

かへる 越前 地名

へ ○

可敝流 万十八 十二

かフまカ

却 へ ○

加敝良末尔 万十一 四十六

かへるカ 帰

へさ ○ 可敝流散 十万

可反流左 万十 八

かへるカ 返

へ ○ ちり加敝之 万九

云くがべ

こハ東語ふて言の〜〜〜かへるカハヒ云々
カハヒ云々ハ東語をまゝ〜

かへ ● じ

ハさかほ賀倍 万十四 十四

あハす賀倍 万十四 二
じハさかほ我倍 万十四

あくとほ我弁 万十四 二

カホ

カ

○ 陸奥考二

十

かほや 上野地名 可保夜がぬま 万十四十三丁 かほ顔 ほ○

可抱 万十四十三丁 かほばな 花名 ほ● 可保婆奈 万十四丁六丁 か

ほやめ 鳥名 や○ 可保等利 万十七丁四十丁 かまくら 相模郡名 く

○ 可麻久良 万十四丁十六丁 かまけり 喧 け○ 安やめ加

麻氣利 万九丁 かまざ 電處 や● 可麻度 万五丁 某処とらふ トはほほ

ほもやめとらふ かまざ 獸名 志○ 歌麻之々 紀皇極

カミ

かみながい 人名 ひ○ 髪長比賣 古中意神 かみつげ 國名

つ○ 可美都氣努 万十四丁十二丁 かみつふさ 國名 つ○ ハ

かみ書はるるれども上つつ助記を かみつせ 上瀬 つせ○ 加美

都勢 古下 かみぬち 神等 ぬ○ 可未多知 万十七丁四十四丁十九丁五丁

れをほむべし。即ち多くほむべし。
 かみつせ
 瀬
 つせ
 加美

都勢 古下 危恭
 かみぬち 神等
 ぬち ○
 可未多知 万十七、四十四丁、十九、五丁。

かみこや 神語
 こ ○
 可未許等 万十八、六丁

カ△

かむやぬてひ 神号
 ひ ○
 神屋楮比賣 上古
 かむあぬつ

ひ 神号
 ぬつひ 皆○
 神阿多都比賣 上古
 かむやまやい

はん 神武天皇
 ひ ○
 ひ ○
 神倭伊波礼毘古命 古中神武

かむ 地名
 ぬち ○
 ぬち ○
 可牟思太 万十四、十七丁
 かむなび 地名

ひ ○
 神名備山 万三、九丁
 丹波、國何鹿、郡河牟奈備、神社備後、
 國葦田、郡賀武奈備、神社、隱伎、園周吉、郡賀茂那備、神社 神名帳

かむ 神号
 か ○
 可牟加良 万十七、四丁
 可未

○ 法皇考ニ

〇十一

郡名
石君
知名抄
か
く
同

か○ 可毛可久万十四 可毛加久十七 かもづくま八下 かもやくま八下

鴨著 島著 中● 加毛度久斯麻上古 かもづくま前 つ●

軒茂豆句志磨紀神代 云々かも又か辞 か○ あはひ

迦毛古下 あききろ 迦母日 かーこさろ箇茂紀 こひ

加母万十八 三下 迦古下 かなるまき 可万

七下 三下 つかの用ひさま 此の事ハるれど 漢は 委

とあ がつ。 云々がも又が 願 願 かも かもすさもいあも賀

母古下 雄畧 かくーも 餓茂紀推 あすさへも我毛万十四 い

も賀あせも古下 雄畧 ぶハあくも我万十八 ちとせも何九下

がモをガナとらへり 万五ハガモとの 云々が

辞
か ● む賀あつとまろくしんみ何よそいし古く免れこ

ら 餓 紀神 武 こがいのとこ我 万七、七 五丁 加を用ひし るハ不正

カヤ
カヨ
カラ

かやぬい 神号 ひ ○ 鹿屋野比賣 上古
かふ 通 ふ ○

可欲波牟 万十、五 七四丁 古より紀上事ハ婆止 用ひしハ不正
かひ 人名

ひ ○ 訶良比賣 古下 安履
か 筑前 地名 中 ○ 可良等

麻里 万十、五 七丁 か 漢 國 く ○ 柯羅俱尔 紀欽 明 可良久

尔 万十、五 十二丁 か 漢 玉 〇 可良多麻 万十、五 九丁 か 漢 衣

漢垣 漢 武 烈 か ○ 哥羅哥积 武 烈 信るハ 漢 衣

こ ○ 可良許呂毛 万十、四 九三丁 可良己呂茂 万十、七 五丁 か 某といふ

む 係えか 人か あどい あ
か 鳥
は ○ 可良須 万十、四 八丁

二〇 可良許呂毛 万十四、九三丁 可良己呂茂 万、五丁 かゝ某といふと多と信

むゆんかゝんかゝんあ
あどいはいごいあゝあゝあ

かゝる鳥 万十四、八丁 可良須

かゝがさぬさ

師曰枯之下木 中か ● さ〇 加良賀志多紀 古中、應神

カリ カル カレ

かゝりばぬやべ

各人 中〇 へ ● 芥羽田刀辨 古中、垂仁 かり

ばか

刈をの ば ● か〇 ぼゝ此刈婆加 万四十、七丁 じぶ芥

婆可

八丁 八丁 かの芥婆可 万十六、十一丁 かりばぬ 芥跡の草、木の根 ば ●

可里婆祢 万十四、十一丁

かりそく 除川 そく〇 かり曾氣 万十四、四丁

二丁、十六、十八丁

かりこも 菰 二〇 加理許母 古下、九丁、十五丁

かりて

米 餼料、て〇 可利豆 万五、八丁 かりは 假庵 ぼ〇

加里保 万九、二丁、十五、九、五丁

某がかり 許 か ● いも我理 万十四、四丁

〇 法考二

百十三

ト
あ我理
ト月
ヒ世
ヒ世
ヒ世

か
るみづ
ひた
号神
つ
●
ひ
○

天知
迦流美豆比賣
上古

か
れひ
餉
ひ
○
加例比
万五
ト八

○伎部
キカ
キ

さ
か
聞
屯
○
企箇輸
紀仁
さ
び
雉
さ
●
○

岐藝斯
上古
枳蟻矢
紀継
吉藝志
万十四
皇極紀
二
枳
始

キ
ク
キ
コ
キ
サ

さ
く
豊國
郡名
く
○
聞物部
紀雄
畧
企玖池
万十六
ト八
さ
こ
ゆ
名
人

こ
○
枳首喻
紀雄
畧
安閑
さ
こ
う
た
ま
聞
召
こ
○
伎許志

色
上古
伎許散を
万九
ト五
さ
さ
が
ひ
ひ
た
神
号
か
●
ひ
○

蚌貝比賣
上古
カ
ヒ
此
カ
は
か
る
書
ハ
る
れ
ど
カ
キ
ガ
ヒ
ワ
ス
レ
ガ
ヒ
此
カ
も
写
る
れ
を
写
へ
て
写
り

古上 伎許散を 万九、五十九丁

ささがいひ是

神号 か ● ひ ○

蚌貝比賣 古上

カヒ此カハカニ書ハるルカキガヒワ
スレガヒ此カハ書クルカヒカキガヒワ

つ

ささりもち

以説古事記
付又委

さ ○

岐佐理持 古上

ささ

研削

さ ○

け ●

岐佐宜 古上

キシ

キス

キソ

さし

岸

一 ○ 木之

万十、五丁

さしみ

地名

一 ○

吉志美

さし 万三、九丁

某さし

姓

一 ○

難波吉師 古中 仲哀 多具吉師

紀神 草香部吉志 天武

去紀了吉士と
去迄ハ不正

ささみ

人名

岐須美美命 古中 神武

ささる

著

さ ○

伎須賣流

万三、四 十四丁

さそ

信濃、地名

そ ○

岐蘇山 二卷 日

さそ

昨夜

そ ○

伎曾

万十四、廿六丁、廿八丁、卅二丁、卅四丁

二、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

○ 法考三

○ 十四

キタ
キツ
キノ

岐多斯比賣古下岐拖志
欽明

媛上日紀
堅鹽
悪子よ心こ
岐多麻須極皇
支多米

續日
植武
織
岐多儼積代紀神
松

つ○
岐都祢靈異記
岐多出地名
つ●
岐多延表式多ハ米カ

支豆支比ととと
出中記風
小キ杵ツ築キのとや
延表式多ハ米カ

ふハあ〜ぬ〜ど〜な〜し〜記〜施〜多〜小〜や〜ら〜み〜伊岐豆岐のみ
や〜と〜あ〜は〜り〜と〜く〜ひ〜と〜り〜れ〜を〜記〜施〜多〜小〜や〜ら〜み〜伊岐豆岐のみ

上所日山
〜○
基能陪明欽
陪明用ハ米カハ

出紀万葉二ハ〜漢多於閑也用ハ〜米カハ
又多葉二キノハ〜と〜り〜れ〜を〜記〜施〜多〜小〜や〜ら〜み〜伊岐豆岐のみ

ふ〜と〜あ〜は〜り〜と〜く〜ひ〜と〜り〜れ〜を〜記〜施〜多〜小〜や〜ら〜み〜伊岐豆岐のみ
昨日
ふ○
伎乃敷万十八丁

キハ
キヒ
キヘ

う虫まうぬをほ
留ハ定ぬうくし。

さうふ

昨日

ふ○

伎乃敷

万十八
十六丁

キハ

キヒ

キヘ

さびみ

極

は○

伎波美

万十七、
丁、卅二丁

さばなれ

來

は○

伎波奈礼

万十七、
丁、卅、卅四、
卅三

さいさつみ

名人

ひさつ皆○

岐比佐都美

古中
垂仁

さびひや

吉備
國令

上、ひ●

下、ひ○

岐備比登

古下
仁徳

さへひや

さへつふ
処の人こ

へひ○

岐閉上
古伎

倍比等

万十四、
丁

倍を用ひぬはハ西ノウニ
らぬまへウニヤノトモ
あれをほる

さへひや

さへつふ

経末

へふ○

あゝあゝあゝあゝ
が岐布

礼をあゝあゝあゝあゝ
ハ岐閉申く

古中
景行

ハ岐布とも

万五、
十六丁

キホ

キヨ

キラ

キリ

さび

衣をまきま
しくあふ

は○

伎保思

万十四、
三丁

さび

競

○ 法考二

○ 十五

ほふ○ 伎保比 万兀、五十二丁

きよみげ

天武天皇、大宮如

ほ○

淨御原 紀天武万 一十四丁

こハカ多書々々ぬど、淨よりうくる云ハ皆ほむほめをほめてもむべし、

み、新をてし、えふべし。

きりりい

嫌

い○ 伎良比

結日 宣命

神代紀、毗を用ひ

とるハ正し、うゝ矣。

きりりいちわぬる

霧起 渡

ぬ○

奇里多知日ぬ

万兀、十四丁

○久部

クカ

くかぬち

探湯

か○ぬ●

區訶陀智 紀允 恭

くかへ

探湯 用器

か○へ○●

難定

玖訶覓 紀允 恭

倉比ほほささる、るし、神代紀ふ。

巖倉比、云、怡途背、ともあれをほべき、他、のづへのへハ、づ、又ほむ、あは、伊、あ、又ほむ、あ、の、あ、れ、う、く、く、考、か、べ、し、

くがみのみかこ

人名、姓、難定

か●

玖賀耳之御笠 古

久積 万九、水
一丁

クク

くくのち 号神 久久能智神 上古 句句迺馳 代紀神

くさわかむろつなぬ 号神 久久紀若室葛根神 上古

くくやう 号神 久久筆神 上古 久久美良 十

〇 九久多知 万十四、十二丁 久久みら 莖 久君美良 十

八四、十丁 久久まゆい 久久まゆい 久久 玖玖麻毛理比賣 中古

行景 久久美濃 地名 久久 區玖利 行紀景 八十一隣 万十三、七丁

くくろ 絞 久久 八十、一里 万十三、七丁 久久つ 籠 久

つ〇 久具都 万三、三丁

クサ

つ〇 久具都 三丁

ク廿

くさかべ 名地 さか〇 へ ● 久佐加辨 雄古下 ぐさかえ

名地 さか〇 久佐迦延 雄古下 ぐさゑざか 名地 上、と〇

下、さ ● 孔舎衛坂 武紀神 下、け井おほり、は、ハ ぐさ

かゝのつゝざ 名劔 さ皆 ● 草那藝、劔上 古 神代紀、は、正

くさひげ 草 ば〇 久佐波牟こま 万十四、 九丁 ぐさ

くさゑをり 草 折 ぐさ ●

久佐太表利 万六、九 八丁 くさば 葉 草 ば〇 ● 難定、 久佐波 十

四、八 うれハあよかみをさるゝを、波と漉ハ姑不誤

くさ 来 さ〇 申くさ久佐 万六、六 十三丁

〇 法考二

〇 十七

クシ

くしなぬひ光
 号神
 くしひ〇
 櫛名田比賣
 上古
 くしげ
 櫛

くし〇
 け●
 久之宜
 万十九
 九丁
 くしざし
 刺串
 くし〇
 さ●

久斯社志
 代紀神
 くしみぬま
 奇
 くしぬ〇
 俱斯美拖磨

代紀神
 くしみぬま
 奇真
 くしぬ〇
 久之志美多麻
 万九
 三丁
 くし
 酒
 説
 くし〇
 久

くしろ
 釧
 くし〇
 久之志呂
 万九
 五丁
 くし
 酒
 説
 くし〇
 久

志
 古中
 仲哀
 區之
 紀神
 功
 くしぬ〇
 日向
 地名
 くしぬ〇
 ふぬ〇

久士布流多氣
 上古
 くしぬぬ
 日向
 國
 くしぬ〇
 ひ〇
 豐久

士比泥別
 上古
 クシヒネクシ
 記
 常陸
 園久慈
 郡
 あり川

いそ
 すが
 くしがは
 常陸
 園久慈
 郡
 あり川
 くしか●
 久慈我波
 万九
 七丁

かくはるき
 八
 東
 野
 申
 志
 ま
 べ

いと
くどがは
常陸、園久慈、
郡ある川
か
久慈我波
万六、九
七丁

かくはるまはつてまゝるは
ハ、東野申志まゝべし。

クス

くまび
神号
ま○ひ●
くまぬ久須毘命
上古
くまびの

つつを
名人
ま○ひ●
久須毘郎女
古下
仁賢
くままる

名人
ま○
久須麻呂
万四、五
十九丁
くまば
ま○
ば●
久

須婆
古中崇神
波を用ひるる
曰下安康
ハ正一うまひ。
くま
木名、又豊
後、郡名。
ま○

球珠郡
和名昔此村有洪樟樹因曰球珠郡
豊後風
土記
くまり

薬
ま○
久須利
万五、十八
丁、十九丁
くまば
奇
ま○
久須

婆之伎
万十八、
九六丁
婆を用ひるはハ正一う
ハ、決めてはるべし語あり。
くまば
上野、
地名

ま●
ば○
久受葉我多
万十四、
十三丁
くまけ
葛
と●

○ 後考二
○ 十八

ば○ 矩儒播羅紀天

クセ
クソ

くせ
山城郡名
せ○
久世
万九十二丁
十一、六丁

くそ
人名
そ○
久

僧古紀推
くそ糞
そ○
俱蘇紀神

クタ

くむわぬのかやぬ
地名
久多綿之蚊屋野古下

くむみやま
地名
朽網山万十一丁
亦打山万十三丁

くむさ
腐
久多志万五丁
ハ十具多思とあ

くむ
久多志
百濟
くむかけ

鶏
くむ
久太紀天
くむ下

くむ
玖陀良須古下
知娜利紀
明育
くむち
降
くむ

鶏

久○●不知

く

笛

久●

久太紀天
武

く

下

久● 玖陀良須 古下 隼 娜利 明 紀 育

く

降

久●

久多知 万五,十 八丁

多ま用ひふ体ハ正しうしむずよの部
ヨグタ午の処をうしうるべし

クチ

クツ

クト

くちひ先

名 人

ひ○

口^{クチ}比賣 古下 隼

くちびひく

口^{クチ}比^ヒひ^ク

上,ひ● 下,ひ○ 句致弭比俱 武 紀 神

ち^ウ記^ニ久^ク知^チ比^ヒ正^シ

い^ウド^ドの^ノ下^カの^ノヒ^ヒを^ヲほ^ス
る^ルハ^ハ上^ノより^{ヨリ}始^メる^ルなり

くち

新羅^{シラ}う^ウて^テ
ち^ウと^ト云^フ

ち○ 俱知

紀 仁 倭

くち

人 名 鯨 又

ち●

久治良

古中神 武 結日 區 旒 羅 同 紀

く

つ 沓

つ○

久都 万十四 十一丁

くつばる

ち^ウと^ト云^フ

つば○

久都保里 万五,四 十丁

く

社 名

ち●

久度

結日 武 延式

クニ

クヌ

く小かぬひえ

名人 ひ〇

國片比賣

古中 崇神

く小ぼ

國原

ば〇 國波良

万丁十

く小ぐ小

國諸

く●

久尔具尔 万

丁 卅二

く小のまぼ

國中 夾

ほ〇

く小此麻本呂

古中 景行 く

小此麻保羅 月紀 く小の麻保良

万五,七丁,九,廿二 丁,十八,十八丁

く小のは

ぬて

盡國

ぬて〇 國乃波多豆

万八,十 六丁

くぬが

陸

か●

かみ書ハありぬどもウ ミガふゆしへてぼりつ

くぬち

中國

ち〇

久奴知 十 万

七,卅九丁, 五,六丁

クハ

クヒ

クフ

くばいひえ

名人

ひ〇

細比賣

古中 孝靈

くばいえ

美の 女を 詞 祢

ば〇 久波志賣 上 古

云々くば

辞

は〇

り

け 苦波

四万

四十 七丁

う 浪 柰久波

十八, 九丁

か め 久波

廿, 三丁

い づ け 八 廿

は○久波志賣上古

云々くば

辞

は○

り

け苦波

四万

四十
七丁 久波

十九、十九

かろ久波

十九、十九

ハハハハ

久比奢母智神上古

くひ

くひざもち

号神

さ●

ひち○

久比奢母智神上古

くひ

ひ○

い久比

くひな

水

ひ○

俱比那

極紀皇

くび

頸

ひ●

久毗

古中

く

ぶつづい

名劔

ふ●

つ

ふ○

つち○

久夫都都伊

古中

神武

句

鷲都

都伊紀

くぶつち

名劔

ふ●

○

つち○

句

夫

智

紀神

豆と用ひる

クヘ

クマ

クミ

ク

ク

ク

ク

ク

ク

くへこ

越垣

へこ○

久

敝

胡之

十九、十九

く

ま

名國

を

熊曾上古

くま

地名

さ○

久麻吉

五十七

く

ま

○ 法皇考二

○ 二十

て

隠

て ●

やそ 矩磨 渥

紀神

くまふま

隈

く ●

か

ハ 竹 區 莽 愚 莽

紀 仁

く み せ

隠

や ●

久 美 度

古

乃 系

久 麻 刀 々 々 々

く み か 子

垣 組

か ○

矩 泐 哥 枳

紀 武

クメ

クモ

クヤ

クエ

く 免 の ま い せ ひ 免

名 人

や ひ ○

久 米 能 摩 伊 刀 比 賣

古 中

く も ば な れ

雲 離

は ●

玖 毛 婆 那 礼

古 下

く も せ の

乃 系

て 居

ハ 中 ○

久 毛 登 韋

古 中 神 武

く も の ぬ つ

雲 起

ぬ ○

久

毛 韋 多 知 久 毛

古 中 景 行 紀 月

く せ び

悔

ひ ●

悔 備

結 日 光 仁

え び こ

神 号

ひ ●

久 延 毗 古 古

クラ

クリ

クル

く じ

名 人

●

衢 羅 餌

紀 神 武

兄 倉 下 倉 倉 下 乃 系

くら ば し

クラ
クリ
クル

くろ
人名

くろ

くろ
衢羅餌紀神

兄倉下、身倉下、まどあり。

くろはし

くろ
大和地名

くろ
久良波斯やま

古下仁徳

くろけ

海月

くろ

くろ
久良下上古

くろ
くろみ谷

くろ

くろ
久良多尔 万七丁

くろ

くろ
りぬくぬ

くろ
りぬ寄之

くろ
ぬ皆

くろ
久里多多祢 万十丁

くろ

くろ
苦

くろ
苦流思 万二丁

くろ

くろ

くろ

くろ
久流必 万四丁

くろ
五十丁

くろ
くろまけ

栗原

くろ
くろ

くろ
久流須婆良

古下雄畧

くろ
くろへき

具糸繰

くろ

くろ
久流部寸

万四丁

くろ

くろ

くろ

くろ
くろのまごひ

呉園ゆめ
持来、名

くろ

くろ
くろ能摩差比

古紀推

くろ
くろ

くろ
くろみ心の跡

くろ

くろ
久礼久礼

万五丁、八丁、十三丁、五丁。

くろ

○ 陸奥考二

○ 六一

ろひ先 名人
ひ〇 黒比賣 古下
くろは 上野
ほ〇 久

路保 万十四
十三丁
くろこま 黒馬
こ〇 久路古麻 紀雄畧 万十
四十七丁

くろかみ 黒髪
か〇 久路加美 万六
九丁
くろさ 黒酒
さ

〇 黒紀 続日
称徳
くさばらくかま 麓
散
ほか〇 俱穢簸邏

く箇須 紀神
代

〇 祁部
ケク
ケコ

云くけく 辞
け〇 りる祁久 古中
應神 りる鶏區 紀仁
徳仁い

らる家久 万十七
六丁 かなる祁久 古中
應神 かま 鶏區 紀仁
徳仁

區 應
神 計久 万五
七丁 次の糸のケク 異
於ありてへるべし

云くけく 辞
け〇 りる氣久 万五
七丁 結日宣命 祝行
さや

區應 計久つ 計久 万五、卅 次の条のケクとハ異ニ
 神 七丁 於あり〜〜へあべし。

云く けく 辞
 け〇 氣久 万五、卅七丁、卅八 結日宣命祝詞。 さや

氣久 十三、五丁、十七、四 十一丁、九、卅五丁。 すむや氣久 十五、卅 四丁 和氣久 祝詞

ケク 八上の系此 けころも 衣毛 〇〇 毛許呂裳 卅二、 卅丁

ケナ
 ケシ
 ケタ
 ケツ

けさ 今朝 さ〇 氣佐 万十七、 十八丁 けしきころ 異心 しきこ

皆〇 家思吉已許呂 万十四、 卅三丁 けぬ 縮羽地名 〇 氣多此

ささ 古上 けぬ 蓋 〇 氣太之 万十八、八丁、十 七、四十六丁。 けつ

人名 つ〇 氣菟此とくご 紀舒 明 けづる 梳 つ〇 氣頭

良受 万十八、 卅四丁

ケニ
 ケノ
 ケヒ
 ケフ

云々けふ

異

け○ 秋風ハひお家アルふきぬ五十五丁

て家アル三丁いやひ家アル十丁

けのころころ頃

上、こ○

下、こ● 氣能巳呂其侶二丁

修一、解ハ、呂ハ乃ヲ誤

るべきと

けい

越前、地名

ひ○

氣比

古中仲哀五十五丁

けふ

今日

ふ○ 家布五十五丁

ケム

ケメ

ケリ

ケル

ケレ

けむけ免けりけるけれ

辞

け○

うぬハ古ハも今も、
ひハ古ハも今も、
けハ古ハも今も、
れハ古ハも今も、

を用のくふりれを、
ケリテケルテケムハは誤る事あれを、
テ

○許部

コカ

コキ

こが 地名

か●

許我許賀五十四丁

こさふさふさ

幾許

● 許許陀 万五丁十 已許太 七十四丁 許已太久 十七丁四十八丁

こいばこいばく 上, 糸 ば ● 許已婆 万十四丁 許已婆久

十七, 元 波を用ひぬ 六丁 景 虚 虚 能 月 紀 物 九 許許能よ 古

行 景 虚 虚 能 月 紀 物 九 許許能よ 古

こ 處 此 許已 万元, 元 悲心 許

已 吕 我 奈 之 久 万十五丁 心 許已吕 度 万

七, 元 七 丁 十 九, 十 七 丁 心 許已吕 太 良 比 万

八, 元 一 丁 心 具 久 万五丁十 心 具 美 十二, 元 心 具 志 十七, 元 心 具 伎 万八丁十

心 具 久 万五丁十 心 具 美 十二, 元 心 具 志 十七, 元 心 具 伎 万八丁十

あまのつら 心 具 志 十七, 元 心 具 伎 万八丁十

あまのつら 心 具 志 十七, 元 心 具 伎 万八丁十

あまのつら 心 具 志 十七, 元 心 具 伎 万八丁十

姓 九 迹 之 許 基 登 臣 古 下 反 正

むもび
 神
 号
 や、ま、^{トラ}○
 こ、ひ、^{トラ}●
 許語等武須毗
 代紀神
 こ、び

や
 姓
 こ● や○
 九迹之許基登^{オミ}臣
 反古正下

コサ
 コシ

こさる
 小
 猿
 さ○
 古佐屨
 紀皇
 極
 こさる
 不
 來
 さ●
 万葉
 十四

ハ、心、
 許佐流とある
 こさる
 名人
 志○
 故思磨古
 紀雄
 畧

こし
 出雲、
 地名
 一○
 高志
 上古
 こしぢ
 越
 道
 一○
 ち●
 故

之治
 万十五
 古之地
 十九
 こしき
 覲
 一○
 許之伎
 五、万

丁
 こしがぬ
 越不
 得
 か●
 古思我祢
 万十四
 八、
 八、
 八、

ゐ、る
 こしづら
 腰
 装
 一○
 つ●
 肇始豆矩羅存
 紀皇
 極

こしひ
 人名
 一●
 ひ○
 古慈悲
 万十九、
 四十一丁、
 九、
 五十一丁、
 結日十八、

ト
 あまこ
 ぐん
 一●
 根許士尔許士而
 上古許自
 万八、
 十、
 四丁

○ 法信考二

○ 元四

コセ
コフ

二世

大和地
名又姓

世〇

許勢
古中孝元万
葉姓氏録

三世

姓又
地名

〇へ●

巨曾倍
万八卷
姓氏録

こそ

地名

そ〇

許曾
万十四
卅三丁

こそこせ

願

そせ

〇

ちぎざり許曾
万五
十八丁い

ろよつぎ許増
六
十丁
ちり許須る申免
十五
卅七丁

ららやめ許世泥

古あり巨勢ぬ
万二
十三丁

かききぬハ欲社と與るどかきめ
又ありるあり所年るるハソネ

りとも

こそは

辞

そは

〇

あわくか

ぬ許曾波
古
上る虚曾破
紀
仁

やよ許曾波
万十八
十五丁

あぬ已所

三、五十
六丁
婆を用ひ
さハ石正

こそ

去

そ

許序

万十八
卅一丁

コタ

コチ

コツ

こぬち

木

ぬ

許太知

万六、卅三丁
十七、五十丁

舒明紀
多用

コタ
コチ
コツ

こぶち 立木 ● 許太知 万九、千三丁。舒明紀より多用

こぶら 足木 ● 許太流木 万十四、十六丁。高木 ●

許太加久 万十九、千六丁。こぶら 小高 ● 古陀加流 古下雄畧

こちごち 峠曰、此方此方。こ 許知碁知 古下雄畧 虚知期知 万二、千九丁

こちで 出言 ち○て● 許知糸 万十四、七丁。此糸を用ひとふは不正

こちぬし 言痛 ちぬ○ 許知痛美 万三、十五丁。こつみ 木屑

つ○ 許都美 万九、千三丁。十四、千三丁。

コト

こやぶらひ 言語 上、や○ 下、や● 許等騰比 万五、千六丁。十七、千四十二丁。十

八、千四丁。許等杼比 十四、千七丁。言のトを屋のハ次 万七丁。こやぶらむ

○ 漢字考二

○ 九五

言

や○

真事マコト

登波牟

古中コナカ

已等刀波牟

万九マンク

こややば

ぬ

不言語

や○

許等等波奴

万九マンク十一丁

騰トウを用ひし

こややばむ

不言語

や○

真事マコト登波受

古中コナカ

許等等波受

万十四マンシヨウ

こやつげ

言告

つ○

け●

許登都礙

万十五マンジウ十丁

こやつて

言傳

つ○

許登都底

万十七マンジチ三丁

こやぶて

言立

ふ

● 虚等太

紀仁徳キニトク万九マンク十一丁

こやふるげへ

言コト延ヒキ九ク

ば○ 許

等於呂波散

万十四マンシヨウ九丁

こやさへく

戒ケイのノ

く○

言コト左散久

万二十九マンニジュウ丁テイ五丁

こやば

言葉

や○

ば●

古度婆

万九マンク二丁

係ケイ度トを用ひ

こやあ

理

や○

許等利

万九マンク九丁

こや

琴

や○

許登

古下コノ首等

紀キ継ツグ体テイ

紀キ騰トウを用ひ

こや

がみ

頭琴

か●

攀騰我

紀武キブ

こやぶ

古コ子シ紀キ

上ウや○

琴
 や○ 許登古下 仁徒 首等紀繼体 万五卷 紀二 騰二 を用ひ
 こや

がみ 琴頭 か ● 攀騰我游紀武 烈
 こやこや 悉
 こ ● ふれ許登
 上や○

下や ● 許等度紀神 代
 こやこや 悉
 こ ● ふれ許登

碁登古 上よ此據鄧馭鄧紀神 代 神 くぬち許等其等万五 六丁
 こやひ

うし 名牛 やひ○ 事負コトヒ 乃牛ウシ 万十六 九丁
 こやなぐし
 昨日事 和酒ニ

く ● 許登那具志古中 應神
 こややめもつ 事執 持
 や○

許等登里毛知万十七 四十三丁
 こやさか 考未
 やさか皆○ 事瑕

此云居騰作柯紀寿 騰二 を用ひふ 不正
 こやし 今 年 や○ 許

登之万十四 十二丁
 こやさ 時 蠶
 や ● 許騰伎万十四 六丁
 云こ

や 毎 こ ● やと其等尔万九 十四丁 此其等尔万九 五丁 ひぎまよく

其登万十四 九丁 孝徳紀二 渠二 を用ひ
 こ ●

○ 後編考二

○ 九六

しは
 榊の葉のさよの児童
 の手は如くさよと云
 て○ か● 古乃豆加之波
 万

一
 加ハ信多丸也。ボ、ガシハアカラ
 ガシハカも信多丸也。等して信多丸。

- コハ
- コヒ
- コフ
- コヘ

こは
 日向、地名、
 ば○ ぬ● 古波陀
 古中 古破儂
 應神 月紀
こは

こひ
 山城、地名、
 ばぬ○ 許波多
 古中 應神
こひふ
 と
 ひふ○

許比能美
 万九、六十丁
 古中記中巻ノ許婆
 佐をあるハ石正
こひそべなかり
 万五、十三丁

べ
 ひ○ か● 古非須弊奈賀利
 万十七、
 今ノ名ニモハレ
 しガウカウカ

ふくろり
 まどろふ
こふ
 筑前、地名、
 ふ○ 故布比何
 万五、十三丁
こへまろ

人名
 へ○ 許遍まろ
 万八、十四丁

- コホ
- コ△
- コ七

こほり
 向日郡ハ
 本韓語ニ
 ほ○ 熊備已富里
 紀 継
こほり
 氷

○ 後考ニ
 ○ 六七

ほ○ 許保里 万七、五十四丁
こほろき 蟀蟋
ほき○ ● 難知
こ

むく 地名 く○ 感玖 紀仁
こもちやま 地名 ち○ 兒毛

知山 万十四、九丁
こもりこい 隠意 二○ 已母理古非 万十七、九丁

こもりく 泊瀬、松村 く○ 許母理久 古下允恭 万十三、十二丁 學暮利矩 紀雄

畧 こもりづ 水隠 つ● 許母理豆 古下 仁徳

こや 小枝 て● 志ひ此故夜提 万十四、九丁 提を用ひしめり

こやと 臥 とも○ 許夜勢留 紀推 古 許夜斯

万五、六丁 こいふと 臥 ふ○ 已伊布之 万十七、九丁

こえがぬ

越不 得 か● 古要我祢 万十四、十七丁 始しほふハ東ノ方 伊志多しハ

コロ コヲ

越不
得
か ● 古要我祢 万十四 十七丁
得
か ● 古要我祢 万十四 十七丁
得
か ● 古要我祢 万十四 十七丁

コロ
コヲ

ころし 名人
ころし ○ 許呂斯 紀仁
ころを 殺
を ○ 許呂

佐務 紀崇
ころひ 嘖
ひ ○ ● 難定 擧盧毗 紀神
代 許呂波

要 万十四
九丁 かくみれを決定ぐさく。他くサケビ外ケビ
オラビのヒも信言みれを。信言みれを考あべし。

で 表
て ● 已呂母泥 万十七、九三丁。
用ひみれども。今ハ信く

信言みれ。ころころころ
凝 ころ ● ちほ許表呂 許表呂 古上

みる許表呂 許表呂 古下 雄畧

○ 佐部 サカ

さかのころり 名人
かこ二皆 ○ 左河之能首里 紀仁
徳

○ 信言考二

○ 九八

か 賢
か ○ 佐加志兒 上古
さかき 賢良ぶ
か ○

上(ま)い(と)り
得(る)誤(り)
さかみ 人名又地名
か ○ 酒見郎女 古下 逆見海
サカミノツミ

紀仲 衰
さかぢ 姓又地名
か ○ や ● 尺(サカ)度 万十六尺 度池 結
十六丁

六 卅
さかさ 神
か ○ 賢木 上古坂樹 代紀神
さかびや 酒掌人

ひ ● 佐个弭苔 紀崇神
さかづさ 酒
つ ● さき ○ 佐

加豆岐 万五十八丁
今の俗に飯を入る器をメシツギ汁をいしるをシルツギ
といふ。うめもなみシツギキルツギといふ。まはるを

誤りつる
さかみづさ 酒
つ ● 佐加美豆久 古下 雄畧 佐可弥

豆伎 万十八丁
さかり 盛
か ○ 左加利 万十七丁 佐迦利 五九

さかえ 栄
か ○ 佐迦延 上古 左加延 万十八丁 賀を用ひし
ハニシツギ

さかばえ 栄
は ● 佐伽摩曳 紀應神
万十八丁 波を用ひし
ハニシツギ

さか 坂
か ○ 波迹布邪迦 古下 履中
さか 峻
か ●

さかばえ 栄
 ば ● 佐伽摩曳 紀應
 神 万八波子用
 いふしおハ正しき

さか 坂
 か ○ 波迹布邪迦 古下
 履中 さがし 峻
 か ●

佐賀斯 古下 佐餓始枳 月紀
 さがむ 國
 か ● 佐賀牟 古中
 景行

相模治 万十四
 さがし 山
 城

地名 上, か ● 下, か ○
 相樂 古中
 さがみ 感
 齧 か ● 佐

賀美 上古 佐我弥 代紀 神
 さがる 下
 か ● 佐我礼流 万五ノ成丁
 十六十七丁

サキ

ささぬまひえ 神
 号 ぬひ ○ 前玉比賣 古
 夕を信正申さる
 次のみまてさる

武藏郡名 佐吉多萬 万十四
 七丁八丁
 ささぬかほ 越
 中

川名 ささぬ ○ 左伎多河 万十九
 十二丁
 ささのぬみ 大和
 地名

ささぬ ○ 沙紀之多他那美 古中 狭城 多多那美 紀仲
 哀

○ 浮屠考二

○ 廿九

みふま

和魂、徳用

さふふ○

佐枳弥多摩紀神

ささほふ

幸

さば○

佐吉播布

万五、
卅丁

ささふて

浪穂起、
さく、云、

ささふて

岐陀互屢

紀神

今本小豆、
豆ニ誤れり、

ささふつ

先立

ささふて

佐岐陀

流

古中 佐伎太多尼

万十四、
四丁

ささち

花、
散、

ち○ 佐伎知

流 万十八、
七丁、
九、六十丁、

さささ

崎

さ

さささ 佐岐邪岐 上古

ささり

真霧

さ

佐疑理 上古 佐擬理 紀神

天之狹霧、神國
之狹霧、神也

らへへ、キをほり
てふむべし、

サク

サケ

サコ

さくくろ

折

さくくろ

佐久久斯侶 上古

さくくろ

花 櫻

ば ● 佐久良婆奈

万十七、
六丁、九丁、

佐具良波奈と
あるハ不正ニ、

さくくろ

神 号

く ●

天、佐具賣 上古

あまのたに愚謎

紀神

さくくろ

探

く

ば ● 佐久良婆奈 五十七、六
六丁、六九丁。 佐具良波奈と
あるハ不正ニ。
さぐえ 神号

く ● 天、佐具賣 上古 あまのたを愚謎 紀神代
さぐる 探

● 左具利 万十三、
九三丁 さけび 叫 け ○ ひ ● 佐家妣 万五、
四十丁

さけつーま 地名 けつー皆 ○ 佐氣都志摩 古下
仁徳 云々

さけ 放 さけ ○ とと含氣て 紀元
恭 かつり左氣み左久流

万十九、
十一丁 ふり佐氣 十五、
十九丁 とい佐氣 五、
五丁 むか左履樓 紀継
体 ひもと

さ佐久流 万九、
五丁 さごろも 真
衣 こ ● 左其呂毛 万十四、
十丁

サ

ささげ 人名又
蓋角 さ ○ け ● 佐佐宜、即女 古下
継体 蓋角此云

波佐礙 紀
門 ささげ 捧 け ● 佐佐賀世流 古下
雄畧 佐々義 足
仁

石 サ、ゲは差揚シアの約りサとるふ。ゲとるふ。哥 傷り。るふ元。佐佐巳とあまのハ正し。

ささ○ 佐佐紀山君 古下 安康 佐佐貴山 万十九 四十三丁 ささかみ 近

地名 さ○ 佐佐那美遲 古中 應神 左散難弥 万一 十七丁 佐佐那美遲 佐佐那美遲

ささのさぬ 天上 野名 さ○ 左佐羅能小野 万三 四 十六丁 神樂良 サ

能小野 十六 丁 ささば 小竹 さ○ ば● 佐佐婆 古下 九 茶

ささか小 蜘蛛 さ○ か● 佐瑳餓泥 紀九 茶 ささささ

荻小 さ○ 佐左良平疑 万十四 十八丁 さささえささこ 月 さ○

左佐良榎壯子 エヲトコ 万六 七丁 さささかみ 小キ文ヲ云 錦 松 詞 さ○ か●

佐瑳羅餓多 紀九 茶 さされい 小石 さ● 佐射礼伊思

万十四 十 二丁 成一丁 さされなみ 小浪 さ● 沙邪礼浪 万十三 三丁 左射礼波 ナ

十二 十九丁 佐佐那美遲 佐佐那美遲 佐佐那美遲 佐佐那美遲

佐佐那美遲 佐佐那美遲 佐佐那美遲 佐佐那美遲

都神 古中
神武

さぶぬ 姓

佐自努公 姓氏
録

サス

さぶけ

祠

さぶ ○ ●

佐須陀氣 紀推
古

佐須太氣 万十五
五十五丁

イクミダケカシミダケケ
ヨシヨシカシミダケケ

さぶな

子

さぶ ○

サス 刺名倍

万十六
十七丁

さぶひ

誘

さぶひ ○

佐須比 万十六
五十八丁

さぶさ

假 寝

● さぶ ○ 佐受岐 古
上 佐受枳 紀神
代

サタ

サチ

さぶみ

定

さぶ ●

佐陀賣流 古下
允恭

佐太米 万十八
五十二丁

さぶ

縮掛 大平

日時節と
云ひ

さぶ ●

負比 古
左太 万十二
五十五丁

さぶ

さぶ

俗二
汰ト

さぶ ●

左太 万十一
五十一丁

誤

さちび

こ

彦 幸

ち ○

ひ ●

佐知毘古 古

さちさち

幸

さ ○

佐

俗沙 俗沙
 汰トキ
 ●
 こやを左太あらし
 五十一
 九丁
 誤心
 さちびこ

幸彦 ち○ ひ● 佐知毘古上古
 さちさち 幸
 さ○ 佐
 知佐知上古

サツ

姓 つき○ 佐都紀臣 古下 雄畧
 さつぎ 月五 つ○

佐都奇 万十七、万七丁、十八、万八丁。
 さつ 幸 つ○ 佐都弓 万五、万九丁、薩雄 万十、万十四

豆を用ひぬ
 さつま 國名 つ○ 薩摩 万三、万十五丁
 さづち 神号

つ● ち○ 天之狹土神次國之狹土神訓往訓土云豆知

下效此上古 此外石土昆古野土迦具土さづち
 さづく 授 つ●

佐豆氣 万六、万五、十一丁

サテ

さてよりひえ

津島、
又名

ひ〇

天之狭手依比賣古

さて
地名

て〇 佐提乃埼 万四、四
十一丁

さでひこ

人名

て● ひ〇 佐

提比古 万五、
六四丁 佐尼比古 姓氏
録

提を用ひしめはひ正しうしむる
さよハ信まるとの処もまめを用ひしめり

さで 纏

て● 左泥 万十九、
九一丁

提を用ひしむハ
西しうしむ

サト

さやびや

里人

や〇 ひ●

佐斗毘登

古下
允恭

佐杜弭等 同 紀 佐

刀妣等

万十四、
六三丁、十七、
十九丁、十八、
九六丁

万三十三、散度人
とあるハ西しうしむ

さやちかく

近里

ち〇 佐刀知加久 万十七、
十七丁

某チカとある
信しうしむ

さやさほみ

里遠

や●

佐刀騰保美

万十七、
六五丁

さやほみ

真遠

や●

佐村

抱美 万十四、
十五丁

さや

名國

や●

佐度

古上、
紀神代

さや

さハま、通ラ感、
又ハ真問カ

や●

佐度波須

万十八、
九七丁

左度波世流

月九
五丁

信しうしむ記、
大戸惑子神の訓

抱美 万十四、十五丁

さぶ 名國

や ●

佐度 古上紀神代

さぶ

さぶ 通感、又ハ真問カ

や ● 佐度波須 万十八、十九丁 左度波世流 月十九丁 他ノ古ノ記ニ、大戸惑子神の訓

往不訓レテ惑ラズニ麻刀比、とあれを。惑も中ハや、と後々もとらう。

廿二 廿又 廿ネ

さぶつら 紅色、白 左耳追良布 万十六、十三丁、十四丁 豆を用ひて

さぬぎ 名國 さ ● 讚岐 古上紀景行、持統紀ニ吉を用ひ

さぬつやめ 雉、松 つか ● 佐怒都登理 古上奴都等 唎紀 継

さぬさし 相模、松 相模、松 さい ● 佐泥佐斯 古中景行 さぬか 日

多々くや 磨く董え か ● 佐祢加夜 万十四、十九丁 さぬや 真寐 ち ●

左祢度 万十四、十九丁 さぬや ● 佐祢耐據 紀神代 云

云さぬ 世通、訓 さ ○ さぶととと 佐祢 古下仁 日 じがるとハ

○ 佐はき二

○ 元三

さばたぐ 詠 ば ● 佐廢賣玖 紀 應 神 さばへ 五月 ば ●

へ○ サ 左廢陪 紀 神 陪を用ひたるハ正しきなり。

さばーる 走 真 ば ●

あゆこ 佐婆斯留 万五、一丁

サヒ サフ

さひもち 一尋 鱈云

ひ○ 佐比持神 モチ 上古

さひづる 轉

つ ●

佐比豆留 万十六、一丁

えしざびさぶ 進

ひふ ●

から佐備

上古 佐備 万一、一丁

うま 佐備 二、十丁 佐

備 月九 五丁

左備 万四、一丁

佐夫流 一、一丁 神佐

扶 二、一丁

かくサビとをいひつり。又サビをシミともいふ。六、七の神之味ともいひ、備と味ハかゝり多し。

さぶ 不 樂

ふ ● 佐夫之

万十五、一丁、五、六丁、十八、十五丁。

九、七、二、府を用ひしハ正しきなり。かくて後サハサビシと云ふも、万五、二

ハカブシ。と云ふあり。然し一云佐必之佐とある。必ハはさむと云ふも、不正。

さぶる

昔有遊 行女名

ふ ● 佐

夫流兒 五十八、
九七丁

廿へ
廿ホ
廿モ

さへき
姓又
地名
さ○
佐伯山 五七、
六五丁
ほる、
誤く
えしさへ
副

へ○
あ、う、ご、ま、は、を
佐閉ひ、う、れ、ど
上、ん、佐閉
五九、
六八丁、
う、左、南

十、九
五丁
神佐閉 六、十
四丁
人佐敷 十四、
一、二丁
倍、
を、用、ひ、と、る
ハ、正、
コ、ウ、シ、ム、
さほびこ
名人

ほ○
ひ●
沙本毗賣 古中
古中
南化
比、
を、用、ひ、と、
る、ハ、正、
さほび免
名人

ひ●
沙本毗賣 古中
古中
南化
大和、佐
保、道、
ち●
佐保治

五九、五
十四丁
さほがは
佐保
か●
佐保河波 五九、五
十四丁
さもらふ

伺
候
ふ○
佐守布 五七、十
五丁

廿ヤ
廿ユ
廿ヨ

さやか
清
明
か○
左夜加 五九、五
十三丁
さやく
喧
擾
く●
佐

サヤ
サユ
サヨ

さやか 清明 か○ 左夜加 万九、五十三丁
さやぐ 喧擾 く● 佐

夜藝佐夜具 上古佐夜牙流 古中左柳寛利 紀
万九、五十三丁 佐

さやさや 清亮 さ○ 佐夜佐夜

さゆりばな 百合花 ば● 佐由理婆奈 万十八、十八丁 波と用ひ

さよりび光 神号 ひ● 杖依毘賣 上古

サラ
サル
サレ

曝 さ○ 左良須 万十四、七丁
さら 更 さ○ 佐

良佐良 万十四、七丁 某さーば 在者 さ○ 秋佐良婆 万十五、九三丁 春

佐良婆 十七、七丁 さるゑびこ 神号 ゑ○ ひ● 猿田毗古神

上古 後世猿陀比古とよむハ混ん田ハあるハあ〜ぬど毘の宿の上る
れを必ほぐしんてほるのニツづく修まぐれをん。あま〜く。閑

○ 漢語考ニ

○ 五五

礼天皇此後名も大毗毗の命とあるハ。比毗ありしと。後小字し誤
 りしハもあつべし。又垂仁天皇、修ふ。表邪辨王とある。邪ハ那の誤るべ
 し。さる所名例
 本ハも見申。

桌されば
 者在

さ○ ゆふ左礼婆
 古中神武
 五十五、五丁

あと散礼婆十五、十二丁 あけ左礼婆十九、元三丁 あと左礼婆十七、九丁

卍
 卍

さわささわく
 騷動
 さく○ 申ふされをあべよ佐和伎

万十五、十一丁 あとりよはむづるを佐和伎ぬ日十、六丁 あぢあゝ佐和

伎十七、元六丁 あがも佐和伎日七、元七丁 佐和吉日三、元三丁 あゝあゝ左和伎

十九、元六丁、六、十二丁 むらこもあむらの佐和伎元六、元三丁 あまびや佐和久

十四、三丁 尾がぬハつゝひふと佐和久元十七、元十九丁 すぢめハ

佐和久日元、元二丁 むづ佐和久日四、元八丁 信のと佐和久元八、元四丁 こ

こも散和久も此こゑも
 六、十、三丁
 二ハ世人たきべて得るもの
 かく證をも多くつとせり。元て

佐和久 日 卅 二丁 づ 佐和久 日 四十 八丁 信の と 佐和久 日 卅 八丁 四丁

こいも散和久 六、十 三丁 二ハ世人終るまで信るるゆゑかく證をも多くいせり。凡て

万葉ふハ信るはかるをといひてゆへ一処もあらず。必信るる。然レサヤギ州ヤグと云ハ通ふゆゆれどかく信るは差別あぬを。玄ハいそこの異ニ。

さわさわ 音物 さ○ 佐和佐和 古下仁 徳紀日 さぬがば 大和 地名

か ● 佐韋賀波 古中 神武 さぬさぬ 音物 さ○ 狭藍左謂 万 四

十五丁

廿一 廿二

さゑさゑ 音物 さ○ 佐惠佐惠 万十四 卅二丁 さもまか 牡 鹿 志○

左鳴子加 紀 影 宗 左半思鹿 万十四 卅九丁 半之可 卅十 五丁 賀を用ひる。正しくいふ。

さもまゆ 取 棹 や○ 佐表斗理 古中 意神 佑鳥刀利 紀 仁 徳 さ

とさし 指 棹 さ○ 佐半左指 万十八 十一丁 さまばし 棹の如くいふ。りゝる。格。

○ 佐和考二

○ 卅六

は ● 佐鳥磨志 紀景 行

○志部

シカ

志かまがは 播磨國饒磨郡ある川名

上、か ○ 下、か ● 思可麻河波

万十五、
七丁 シカ一のカハ賀と
用ひとるハ不正也。

志か 筑前地名

か ○ 四可之加 万七、
九三丁

牡鹿 一丁 然シカけきま三、九 丁

思可 十五、
十七丁 志訶知名抄

今本小訶を阿
と誤り、又景

行紀志我神、多ふ賀と
用ひとるは不正也。

志かまが

志うらまが

上、か ○ 下、

か ● 之可須我

万四、九三丁
十八、十六丁

然シカ為我尔 十、八
丁

志か こそ結
ひ、辞へ

か ○ 許曾うそふえ之加 万三、五
十七丁 志ぬくて許曾

こやふで思可 十四、
九五丁 いを許曾あひみふこ思可 九丁 大さ

のり許曾ふるどへせ之可 十七、
七丁 志りかうと志ハあの然 三、
五

こやぶで小思可十四、いもとを許曾あひみよこ思可九丁日大き

のり許曾ふるどへせ之可十七、さりかうとゑハあめ然三、

十一 まりの已曾さぶこえと牡鹿九、賀を用

必佳 志賀 古中志我 七丁

か ● 四我良美 万二、七、八丁。

シキ

敷津五十二、敷山主神上古 敷地名。 志幾古中 施基皇

子紀天 志貴、皇子五一、 大和、地名。 之奇志

麻万九、 之伎美万六、 之奇志

藤重 壘枳磨枳代 神 之皆

○ 法局考二

○ 飛七

志岐多閉 万五ノ十一丁

倍も用ひよるハ正しきなり

志岐多閉

助

志岐

いま之紀乃 續日宣命

收斯久 古中應神

玉ひめい之久

万七ノ十三丁

おろへ

り四九四 四ノ五十四丁

云々

畧きてはと斗りもり

志岐

免斯企

万五ノ五丁

志久

日十

此の世ふイニキ

又九ノ二了又苦侍伎とある侍ハ詩の字の候り

志岐

神

志岐

志藝山津見神 上古

津ハかみふかぬど某ツミと云言多々

大神つゝのま

志岐

鳴

志岐

志藝

古中神武紀曰万十九ノ九丁

伎を用ひ

シク

シケ

シコ

志久

重

志久

思久思久

万十七ノ四丁

思苦思苦

日十

志岐

雨時

く

四具礼

志岐

物食合

く

四具比相

万十六ノ十六丁

志岐

志岐

けこ

志祁

れ

雨時

く ●

四具礼

万三丁

志之岐

物食合

く ●

四具比相 万十六丁

志之岐 醜 万三丁

志祁

去岐 古中神武

志之岐 繁

斯宜志 万五丁 之牙可久 十四丁

氣既を用ひ

志之岐 名人

志之岐 名

色夫 紀孝徳

志

こり 頻

思許理 万十三丁

志之岐 醜

志之岐 志許

志許賣 古 之居免 紀神

志許 万十七丁

志許 万十三丁

志許 万十三丁

四忌手 日 あめり

志之岐

志之岐

蝦夷地名

志之岐 紀育明

志之岐 矢羽名

志之岐 万十三丁

志之岐 猪

志斯古下思之五十四、九十九丁
志之助一〇 日がうろ 志を

ぬくを斯も 古中 日がうろ 辞紀 同紀 かは四さやろ 志を

四みがろ 五三、九十九丁 いろめ 志あもへをむ 十九、四十八丁 志を用ひるは

代紀 神代 日がかどびぎ自自 五十九、五十一丁 志を用ひるは

上上、志● 下下、一〇 志自牟牟 古下 縮縮見見 影影

宗 志自みみ 蜺 一〇 四時美 五十六、五十七丁 志自牟牟 繁繁 上上、一〇 丁丁、志

自自 五十五、九十九丁 四時 四十六、四十七、九十九丁 志自牟牟 繁繁 上上、一〇 丁丁、志

くく 矢矢自自知知矢矢盧盧 紀紀 継継 五十九、九十九丁 志自牟牟 繁繁 上上、一〇 丁丁、志

志自牟牟 繁繁 上上、一〇 丁丁、志

志自牟牟 繁繁 上上、一〇 丁丁、志

其呂母 万十五、
六三丁
志多比 下心
意
思多吳非 万十七、
六三丁
志

志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶

始陀騰余涿 紀武
烈
陀陀を用ひてふいふのしるし。
允允て下云とらむるも多あり。
志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶

下吹 風
志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶
志多比 古下
允茶

上、下、
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

慕 比
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

武 駿河、
郡名
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

子太草 万十一、
十二丁
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

娜屨 紀孝
徳
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

シツ

志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武
志多比 古中
神武

まづまる 鎮 つ ● 斯豆迷 万五ノ 十三丁 静 つ ● 之

頭氣師 万三ノ 十四丁 港 つ ● 斯豆久 万十四ノ 十三丁 都と用ひと

まづく 下 つ ● 四頭久 万十九ノ 一丁 秀枝小對て 港枝をい

● 斯豆延 古下雄畧紀應 神万五ノ十八丁 文 倭 つ ● 難定 志都ハ

烈紀武 施都まを此あぐ 畧雄 志都く 万五ノ 九丁 志都此いとや

三ノ 卅 之都みくめ そへ 十七ノ 四 以上 倭まを 又 倭まは 倭文此云

之頭於刹 紀天 かくはほのからを交用ひしめを言えし。 げのり考あ べきりこ又古の紀仁徳候 雄畧修か 志都哥とりみり

るゆさんどこハ 異りまをまづ。 賤 つ ● 難知 名地 して ● 四泥

此さを 万六ノ 卅九丁 志ゆめがみ 建葉槌會りて經 津主神殿後神と ち ○ か ●

斯圖利俄末 紀神 代 志ゆ 鳥 皆 ○ 麻斯登登 古中 神武

芝苔々 紀天 武

シナ

シヌ

志那都比古

神号

つひ○志那都比古神古

志那陀由布古

浪の... 紀天

應神

志那都比古

越松

志

之奈謝加流

万十七、九五丁、十八、十四丁、十九、廿丁

志那都比古

立級

て

斯那提流

志那提流

山紀推

志那

がやめ

松

か

や

志長鳥

万七、十二丁、九、十七丁

志那

志那

ひふは

艶

ひふ

○

四名比

万十三、五丁

之奈布

三、九一丁、六、四十四丁

志那

志

凌

志

●

之努藝

万十九、廿七丁、八、四十八丁

志那

慕

志

志

濃

比

○

志

濃比

万、廿、廿五丁

思努布

一、十丁

思努波牟

十四、廿八丁

思努播牟 十七、廿六丁 思努幡武 二、四十丁 斯農波由 五、八丁 斯怒波米 古下 允茶

慕と
 二同シ
 ひふは○ ● 志濃比 万丁、
 五丁、
 思努布 一丁、
 十丁、
 思努波年 十四丁、
 十八丁

思努播年 十七丁、
 十六丁、
 思努幡武 二丁、
 四十丁、
 斯農波由 五丁、
 八丁、
 斯怒波米 古下、
 允茶

之努波世 十五丁、
 十六丁、
 之努波久 十九丁、
 十六丁、
 思怒波毛 十四丁、
 十七丁、
 ひふはをばるるハ
 得之万丁よりハ

いとまろくあれども思ふまゝのゆゑを今の世にまゐるゝもあげつ。倍々三、十、思
 努地十七、まゝ志乃備ともあれどもまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
 らいておのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひ
 只二起まのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひおのひ

シハ

志はつ 人名又
 地名
 つ○ 河邊磯泊 紀孝
 四極山 万三丁、
 十九丁、
 志は 至物

極 志波 古中
 應神
 志は 昨曰。俗言小物を惜ま
 志は ば○ 麻

之波 万十四丁、
 十四丁、
 志はふれ 嗽
 ば○ ふ● 之波丈礼 万十七丁、
 四十六丁

志はかさ 紫垣
 ば● か○ 斯婆加岐 古下、
 清寧、
 之魔柯枳 紀武、
 烈

志はぬひえ 人名
 ひ○ 柴野比賣 古中、
 景行、
 志はのぬ 吉野、
 地名

シホ

志保

潮又

ほ○

志本

古下

之衰

紀武

之保

万葉

志保

瀬潮

せ○

斯本勢

古下

之衰

紀武

志保

千潮

し○

志保悲

万十四

之保非

十六

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

爲

万十五

潮左爲

丁

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

船潮

ふ○

難定

志富

志富

志富

志保

志保

志保

一斯本布祢

十四

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

俗

万六

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

シ下

志保

嶋邊

へ

施麻

智紀天

志保

島門

中

思麻

度

万十四

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

志保

〇 法考二

〇 四十二

志摩あはごり志摩さけつ志摩古下あまづ志麻雄あまづ

辞摩紀應辞摩之魔神思麻八丁之麻九丁いへ之

麻三丁あは之麻四丁いけい之麻五丁あまづ之麻六丁あまづ

志麻七丁可志麻八丁あまづ九丁あまづ十丁あまづ十一丁あまづ十二丁

あまづ十三丁あまづ十四丁あまづ十五丁あまづ十六丁あまづ十七丁

之麻都等里万十七あまづ四十五丁あまづ四十六丁あまづ四十七丁

暫一〇之末思久万十五之麻志九丁思麻良久四

丁一後世二あまづ三あまづ四あまづ五あまづ六あまづ七あまづ八あまづ九あまづ十

シメ
シモ

志先地名志米須古下志先示斯

呼斯万五十三丁
志先こりも
漆
こ〇
斯米許呂母古
志も

志光を 近江地名
 志米須 古下影宗
 志光一 示
 斯

呼斯 万五十三丁

志光ころも 漆衣

こ○ 斯米許呂母 上古

志も

つけぬ 國名

つ○ 之母都家塔 万十四丁

志もつふさ 國名

つ

ふ○ 此は志光のつひに如くカミツフサの如かりへるがごとし

志もや 栞

志○ 之毛等 十

四丁 某ぶもの

如く志 志 志一 貳も 志 紀武 志と 志

志いぬ時もの 万五十九丁 志よ自の 志一自の 六丁 志かこ自

志九丁 志とり自の 志二丁 志とこ自の 九丁 志とこ士も 志

十一丁 志か自の 志十五丁 志宇事物 志延喜 志物ともしるは遠あり

シラ

新羅 志○ 新羅奇 万十五丁 志羅紀 出雲風土記 新良貴 姓氏録

志玉白 志○ 志良多麻 古上万六丁 志紀小院を 用ひ

○ 志光考二

○ 四十三

志良久毛

白檀

か○

志羅伽之行
紀景

志良久毛

白雲
く○

志良久毛

万五、九三丁
十五、七丁

志良久毛

白露

つ○

之良都由

万九、十四丁

志良久毛

白砥
堀

志良久毛

志良登保留

万十四、十六丁

今本不
らとる布

志良久毛の考へありつゝて白云といふは古書に多しと云ふべし。
依之按ふ。白髪のかも。白香つゝゆふと云ふも。依之考へるべし。

ぬひ

筑紫、
松詞

ひ○

新良農比

万五、五丁

志良久毛

呼曰後拳
哥ヲ約メ

る名

け●

志良宜歌

古下
允恭

シリ

シル

シロ

志良久毛

人名

つとむ

志理都紀斗賣

古中
應神

姓氏
録小

尻調根、
云々あり。

志良久毛

蝦夷、
地名

志良久毛

新利赤敵之

紀
明

志良久毛

後方
年

へ○

て●

志理幣提

紀神
代

志良久毛

後

つとむ○

斯理都斗

古中
崇神

志良久毛

後
振

ふ●

美夜

志理幣提紀神
志理幣提紀神
志理幣提紀神
志理幣提紀神

後戸
つや○
斯理都斗古中崇神
志りぶり後振
ふ●
美夜

泥之理吏利万十八、七丁
志りく免まば今俗云志免こ
く○
尾久米

繩上古斯梨俱梅灘波紀神
志りば遠江地名
は○
志留波万

十六丁
志りし印又
志留志万六、六丁
志りふ白絹布

ぬへ○
斯漏多閉古下雄畧
万々々倍を用ひる
るハ正しくしなす。

○須部
ス力

志かのやま地名
か○
須加能山万十七、四十七丁
志かく築さ作こ
か

○
くはに須可伎万五、丁
志かえろ人名
か●
こ○

須賀志呂古郎女古下用明
志がる虫名、又人名
か●
須我屢

○法考二
○四十四

紀雄

出雲又信濃地名

素鷄 紀神 須我 万十四 三丁

まが

まが

か ● 〽 ○

酢蛾島 万十一 丁 某島とらる皆流河

まが

か

か ● 須賀須賀斯上 古須賀志賣 仁 古下

まが ぬみ

菅

か ● ぬ ○ 須賀多多美 古中 神武

まが け

菅原 は ○

須賀波良 須宜波良 古下 仁 徳

まが ぬ

か ● 須我多 十 万

八、元二丁 元九丁

スキ

まが

大嘗會 主基 〽 ○ 次此云須岐 紀天

こゝから書すくさけ れを決定さす

と多くは流るるべし。出紀方をもつて。次の字ハ須積と流るるのかる不用ひて。都藝此かるる。月ひぬる。いとすくさる。又後の書ハ主基とある。 基も流る。 〽 ○ ば ● 須岐婆奴

流 古下 雄 畧

まが 杉

まが ●

須擬 紀顯 須疑 万二、 元四丁

まが 過

基も信
るこ

とさばぬる

整もて土と
ぬるこ

さ○は●

須岐婆奴

流 古下
雄畧

をど 杉

さ●

須擬 紀顯

須疑 万二、
六四丁

をど 過

と●

須疑 古中
景行

須擬 紀
須義 万十七、
六六丁

須具之 月六
七丁

須吾左年 十
四

凡四 万と云十四
見所久思とあるハ云ハ
ぬのをさぬ

スク

スケ

スサ

をくまびこな

神号

ひ●

少名毗

古那神 古
上

万と云十八ハ比を
用ひと云ハ不
正

をくまー

少

く○

須久奈久

万十五、
六三丁
十八、
六一丁

をくま

速 速

く○ 須久須久

古中
應神

海毛おつる
速のこちハ
速のこちハ

を

くぬ 宿
祢

く○

須久泥

古下
允恭

須區祢 紀神
功

をくり

村主

○● 難知

をけ

助

け○

須氣

古中
神武 輪開 紀

をけさ

隙

け○ 寸鷄吉 万十、
三丁

をさの志

神号

さ○

須佐之男命

○ 法考二

○ 四十五

上古 **まざ**

地名

まざ

○ 渚沙此入江

五十一、
八丁

入

まここり

人名

まここ

須須許理 古中
應神

ま

能登
郡名

ま

珠洲

五十八、
三丁

珠洲郡須須神社

帳神名

ま

煤

ま

別須

上古

まこ

俗云まこ
まぶる

ま

須酒師

五十九、
五丁

まこち

名鉤

ま ○ 須須鉤

上古

まこのみぢ

名鉤

ま

ち

須須能

美臆 紀神

まころ

静やか
ぬま

ま

按ふ
ま

ハ降りてまのれども本ハ流るるべし。古に神武段々勢夜陀
多良比賣。それかひまをくく。故三輪大物主神みちを
其まと免れかつかふりれる時うぬめり矢ふありて。そのかひ下よ
り。其まを免れかつかふつとまかれ其まを免れかつかふつとま
を免れ伊須須岐伎とあり。是まを。まを。まを。まを。
まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。
まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。まを。

○ 須須美 石伝
石哥

ま

ま

須々吉

五十七、
四十八丁

ま

ま

進

ちあゆ伊須須岐伎とあゆ。是ち。ろ。ろ。そ。ろ。ろ。
 とさひろろれを。中ハ漢字多るべくあむる。
 ちくむ 進

○ 須須美 石 足
 ちくさ 薄
 ちく吉 万十七、四十八丁 俣之

ちくる 啜
 ちく 須須呂比 万五、六九丁
 ちくさ 鱸

ちく 須受岐 古上、万、十五、八丁
 ちく 雀
 ちく 須受米 古下、雄畧

ちく 鈴
 ちく 須受 古下、九、恭、万十四、十七丁 輸孺 紀安、康
 ちく 涼

● 須受之伎 万九、十三丁

ちく 神
 ちく せ
 ちく ひ
 ちく 須勢理毘賣 古上
 ちく 裙

ちく び
 ちく 須蘇 五、九丁
 ちく 集
 ちく 須太 万十

ちく 須曾 万九、五、九丁
 ちく 伊賀又遠 江、郡名
 ちく 須知 古中、安寧 周智 知名

七ノ四十二丁
 十九ノ四十一丁
 ちく ち
 ちく ち

ちく ち
 ちく ち
 ちく ち

るかよかくお漢籍そいぬく大皇国
 所字向所害おハあめりるる

スヒ
 スフ
 スヘ
 スト

まひぢら小 神 号
 ひ○ ち● 須比智迹神 上古 須毗尼 代 神

出紀お毗の字を用ひしむる可也。正しくいふにぬハささあもいそむが古も記す。智の字も用ひしむる可也。いそくしう。故按ふ。岸比地迹神の湯名ハ上代より上声ふし。茶めりし。伊也。地は湯もたかるそ用ひ。須比智迹神の湯名ハ去声まゆゆ也。智をばはむ。いそもあむ。へど出紀おハ二柱も小。尼の留るのかるそ用ひしむる。然ふもあささ。あ。か。か。く。お定免うく。ハあれも今ハ志そ。出紀およりぬ。

須夫須夫 上古
まべ 総 へ● こはす。あ。も。通
 ひて留る所也。

まべ 爲 便 へ● 須辨 五八、卅三丁、三、五十六丁、十五、卅一丁、十七、九二丁。 須別 五、六丁 せむ須便

同 卅 九丁 蔽 弊るも。ま。あ。う。く。処。お用ひ
ままひや 須磨 人 へ○

須麻比登 万十七、十六丁
ままはむ 住 住波牟 万四、六九丁

スメ
 スラ
 スリ
 スル
 スエ

在免かみ 神皇
 か○ 須賣加未 五十七、卅四丁
在免ろと 祖皇

子○●難定 須賣呂伎 五十八、十八丁、九丁、卅二丁、卅三丁、卅九、五十丁、十七、四十二丁、十五、卅三丁、十九、四十三丁。 伎

漢留於用ひさよふし
 うゝぬを定免がさし。
云々 尚
 生○ ともさめ須良 九、万

十一 須良 十、九 かも須良 十五、十一丁 あゝゝゝを須良 十七、卅三丁 多

一 須良 十五、十一丁 和名抄行旅具
云々 ふ● 須理夫久路

五十八、
 卅六丁 **云々** つ○ 須里都氣 五十七、十二丁 **云々** が 名

か● 須流河 五十九、九一丁 **云々** 居 生○ みふぬおろ須

惠 五十九、九六丁 船まうけ須惠 四丁

○世部
 セキ
 セク
 セス

せ 關
 〇 ともさめ須良 五十八、十七丁
せ 塞
 〇 世

そが 地姓名又
か ● 蘇賀 古中蘇餓 紀推 宗我 万十二
九七丁

ひ 向背
か ● ひ ○ 曾我比 万十四十丁
十七四十丁
そぎぶく 許幾

そ ○ ぶ ● 曾伎太久 万九
九五丁
そこらく 前条二
こ ○ 曾

己良久 万九十八丁
そこば 前条二
は ● 曾許婆 万十七
八四丁
そこ 其

こ ○ 曾許 万十七
十三丁 曾已 七丁
そこぶく 著底
ゆ ● 底

度久 上古
そこひ 至極処
底と云
こひ ○ 曾許比 万十五
八四丁

ワレ
ワミ
ワタ
ソチ
ソツ

そくさ 冊波 地名
し ○ さ ○ ● 難定 蘇斯岐 万ヤケ
八三丁 紀安

しもり 新羅 地名
し ○ 曾尸茂梨 紀神
代
そくさぬ 地名
そ ○

そ ○ ● 難定 層増岐野 紀神
功
そぶぶさ 古事記傳二日俗
曾と叩と云

上ぶ ● 曾陀多岐 上古
そち 其方
ち ○ 曾知 万二
八四丁
そ

曾祢六十四 日かるめえ曾祢八十四 なさきいで曾祢五丁

あえをふり行年二とみめえ行年風あき行年三どあ
る行ハ所ハ誤りるるべしと所のいされつるハうべと

と通ふ能字と。 云ハそ 前ノ条ニ 同シ 云ハそ

上古 ちめをまづい曾五丁 人ふるまさせ曾四丁 九丁 ありるやせ

曾十五丁 云ハそ 難ノ決 日ハふハ叙ハいま叙ハ中古

應いハへめハこむ 鋤ハ紀ハえ ともると序ハふハ叙ハいま叙ハ中古

みき叙ハ古ハ中ハ まつりハこハみき層ハ紀ハ神ハ よけくも叙ハまハ叙ハ中古

よけくも曾ハまハ叙ハまハ叙ハ中古 九丁 ともとく曾ハゆハさハありるれハひハまハる

く曾ハあハえハありるるハひハまハるハ序ハあハえハありるるハちハふハと

さハぐハ曾ハゆハまハありるるハちハふハ叙ハ一ハ十ハうれむハ

曾ハ三ハ丁ハ 母ハけハまハるハこハ曾ハ七ハ丁ハ 日ハれハめハづハこハ叙ハ日ハれハまハる

さぐく曾。ゆきハふるちふ
九十三、うれむ叙ハ十一、
うれむ

曾ハ^{三ノ}丁^六 母れよるこ曾^{七ノ}丁^十 くれハめづこ叙^{八ノ}丁^十 ハまる

こ叙^{六ノ}丁^六 古^九ノ記書紀^{五ノ}系^{九ノ}カ。曾^十も^十多く^十用^十ひ^十め^十れ^十も。
かく一ッ言^十ひ^十も。ほほの^十か^十る^十を^十交^十へ^十用^十ひ^十め^十れ^十も。

定免^十う^十こ^十し^十。狩^十う^十く
考^十へ^十さ^十る^十あ^十り。
そのはなまづみ
号^十神^十 つ ● 其花麻

豆美^十神^十上^十古^十 そのふ
生^十園^十 ふ ○ 弥曾能不^{五ノ}丁^五 御苑布^{九ノ}丁^七

ソハ ソヒ ソフ ソホ

そばかり 名人 は ● か ○ 曾婆訶理 古^十下^十 履^十中^十 そば 名^十木^十 は

● 曾婆 古^十中^十 神^十武^十 曾婆 同^十紀^十 そび 背^十平^十 ひ ● 曾毗良 古^十上^十 そ

ふ 漆 ふ ○ 伊蘇比 古^十中^十 應^十神^十 万^十葉^十元^十毛^十倍^十さ
用^十ひ^十と^十る^十ハ^十不^十正^十 そびの

やま 高^十千^十穂^十中^十 あり山^十名^十 ほ ○ 曾褒里山 代^十紀^十神^十 そほ 号^十神^十 ほ

○ 山田之曾富騰 古^十上^十 そほり 号^十神^十 ほ ○ 曾富理

○ 後編考二
○ 五十終

泊酒會蔵

神上古
 そは 大地名
 は○ 層富縣紀神
 そはち 所活
 は

○ ち ● 曾製遲 紀武
 そはふる 雨のちや
 は○ ふ

○ ● 難知 曾保零 万十六
 そはぶぬ 赤かて塗
 は○ ふ

● 赤乃曾保船 万三、アチ、
 赤曾明舟 十三、
 某船と云ふ
 大方は海に

ソメ
 ソモ
 ソラ

そ免さ 草 漆
 〇 曾米紀上古
 ともそも 抑
 〇 曾毛

曾毛 続仁日
 〇 〇 虚空津比賣 古中
 開化

らち 虚空
 ち ● ち 蘇良治 万十五、
 旅はそちる
 ど是かひと

そみつ 大和
 つ〇 蘇良美都 古下
 見通 万五、
 一丁 豆

用ひぬるハ
 正しうしず

泊酒會藏

用ひぬる
す

